（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和 5 年 5 月 22 日（月曜日） 11 時 10 分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡 名		負傷 1 名		職種 基礎工		年令 38 才		経験年数 19 年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　名］

送電鉄塔の基礎工事中に軽量鋼矢板に左示指をはさみ受傷した。

［作業内容］

新設鉄塔基礎工事（軽量鋼矢板設置業務）

［発生状況］

バックホウで土留め支保工（軽量鋼矢板）設置作業中に，矢板が動き，軽量鋼矢板の間に左示指をはさみ受傷した。

［被災程度］

左示指基節骨開放骨折

［服装・装備］

保安帽，作業服上下，長靴，革手袋，墜落制止用器具

原因及び対策

［発生原因］

・被災者は，矢板調整時に裏込めが崩れたことから自ら矢板の確認のため不用意にバックホウに近づいた。

・被災者は，班長であるにもかかわらず，自ら矢板の確認と合図を行った。

・被災者は，矢板の建込み確認を行う際，H鋼に乗ったうえ結合部を左手で掴んだ。

・誘導員は一次下請であり元請である被災者へ注意できなかった。

・オペレーターは作業員が近づいたにもかかわらず，注意できなかった。

［再発防止対策］

・現場代理人は乗り込み教育時に労働災害に伴う再教育資料により班長の役割について教育をする。

・誘導員は所属会社に関わらず，危険行為があった場合はためらわずに注意を行う。

・元請は誘導員が一次下請けであっても指摘事項があった場合は真摯に受け止め，一旦立止まり作業員全員で工法を検討する。

・現場代理人は乗り込み教育時に作業内容・工法について経験の有無を確認するＱ＆Ａを作成し，知識・経験の有無を把握して適正な作業分担を行う。

・元請会社は新規入場者に知識・経験がないことが確認された場合は，作業内容・工法を指導した後に入場させ，その後も引き続き経験者が指導する。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

発生状況

バックホウにて軽量鋼矢板を前後に角度を調整しながら圧入していた。

バケットが軽量鋼矢板から外れ前後に振れた際に隣の矢板に接触し前後に振れ矢板の合わせめを掴んでいた左手の人差し指を挟まれ受傷した。

挟まれ状況（拡大）